

## 福地小学校少年消防クラブポンプ操法披露

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

令和4年9月14日（水）、福地小学校少年消防クラブは、軽可搬ポンプ操法訓練披露会を行いました。

訓練成果をいかんなく発揮した吸水、ホース延長から放水まで、火災現場活動さながらの迅速かつ統率の取れた行動は、地域防災への意識と使命感を感じさせるものであり、他クラブ員の模範となりました。

今後も研修や訓練を重ねて知識や経験を身につけ、地域防災活動における防災リーダーとして活躍してくれることを期待しています。



## 地域に密着「火の用心」

新潟市消防局

新潟市消防局江南消防署では、地域密着型の火災予防広報活動を実施するため防火ポスターを作成しました。

ポスターのデザインは、より多くの市民から防火意識を高めてもらうため、管内各地域の文化資産や地元特産物を背景にしたデザインを考案し作成しました。防火ポスターの掲示場所は地元商工会の全面協力を得て、幅広く市民の目に触れるように各商店街の店頭、小中学校等に掲示を依頼しました。

今後も、地域と密着した火災予防広報活動に取り組んでいきます。



「江南区 365日 火の用心」

## 消防通信

## 望

## 楼

## ぼうろう

## 建設業協会・消防機関における土砂災害対応連携訓練を実施

駿東伊豆消防本部

駿東伊豆消防本部では、防災の日である9月1日と2日の2日間、静岡市消防局特殊装備小隊（重機隊）と合同で、建設業協会（田方建設業協会他6団体）と連携訓練を実施しました。

土砂・風水害に対し、迅速かつ的確に対応することを目的として、県内で重機を保有する2つの消防機関の協力体制の確認及び建設業協会との合同訓練により、重機操作技術の向上が図られるとともに、顔の見える関係を構築することで、災害対応時の救助活動における関係機関との連携強化につながりました。

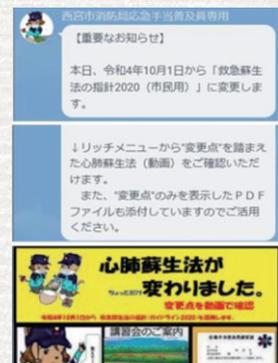


## LINEで応急手当普及員をサポート

西宮市消防局

西宮市消防局では、令和4年10月1日（土）から「救急蘇生法の指針2020（市民用）」に基づいた指導を開始するにあたり、『西宮市応急手当普及員専用公式LINE』で、応急手当普及員へ心肺蘇生法の変更点等について周知を図りました。

この公式LINEは、応急手当普及員の活動をサポートする目的で開始し、応急手当に関する情報や資格の更新に関する情報等を定期的に配信しています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】